

# 宗谷管内漁業士会報



# 舵

### 【宗谷管内漁業士会事務局】

宗谷支庁産業振興部水産課  
〒097-8558 稚内市末広4丁目2番27号  
TEL: 0162-33-2944  
FAX: 0162-33-2632

第 10 号

平成21年8月12日

## 平成20年 宗谷管内漁業士会活動結果

### 【平成20年宗谷管内漁業士会総会】

平成21年2月23日、宗谷合同庁舎において平成20年宗谷管内漁業士会総会を開催しました。

- 議事(1) 平成20年事業報告及び決算報告について
- 議事(2) 平成21年事業計画(案)及び収支予算(案)について
- 議事(3) 平成20年宗谷管内漁業士会の活動内容について
- 議事(4) 会報舵第10号の発行について
- 議事(5) 任期満了に係る役員改選について

### 【事業計画について】

自己研鑽及び管内漁業士間の連携はもちろん、他地区の漁業士と交流を深め、連携を密にすることを目的に、「各種会議、行事などへの積極的参加」を進めていきます。

また、管内漁協青年部連絡協議会との連携や、水産技術普及指導所が実施する各種普及事業への協力を行っていきます。

平成18年より継続している青年漁業士食育活動は、平成21年より宗谷管内漁業士会食育活動として全体で取り組むこととなりました。

平成20年に実施した「ヒラメ体験放流」については、平成21年からはニシンも対象として取り組んでいきます。

### 【役員改選について】

次のとおり役員が改選され、新体制となりました。

- 会 長 奈良 満
- 副会長 本澤日出夫 佐々木 修
- 幹事長 深道 昌広
- 監 事 能村 勝洋 和田 清人

### 【青年漁業士食育活動について】

平成18年より年1校実施してきた「漁業士さんの出前授業」は、平成20年には4校からの申込みを受けての実施となりました。

次のページに内容を掲載しましたのでご覧下さい。

### 【その他の活動について】

- 地引き網体験学習会  
枝幸漁協乙忠部地区の青年部員が、地区の小中学生を対象に実施した地引き網体験学習会に参加・協力しました。
- ヒラメ体験放流会  
宗谷管内栽培漁業推進協議会の協力により、地区の小中学生を対象としたヒラメ種苗の体験放流を実施しました。
- 利尻漁協漁業士会「ナマコプラザ」  
稚内水産試験場と利尻地区水産技術普及指導所を講師に招き、近年関心の高い「ナマコ」を対象とした学習会を開催しました。

## 漁 業 士 通 信

### ◆伊藤漁業士のご逝去について

当会所属指導漁業士(枝幸漁業協同組合所属)、伊藤章英氏(享年60歳)におかれましては、平成21年1月18日に急逝されました。

平成14年度に北海道指導漁業士となられる以前より漁業後継者の育成と漁村活性化のため精励された伊藤指導漁業士の生前のご活躍に感謝いたしますとともに、心からご冥福をお祈り申し上げます。

### ◆漁業士認定について

平成20年度の北海道漁業士認定において、青年漁業士から指導漁業士への移行が2名、指導漁業士2名・青年漁業士2名が新規認定され、計6名が認定され、新たに4名が当会に加わりました。

#### 【青年漁業士からの移行】

- 利尻漁協指導漁業士 能村 勝洋
- 利尻漁協指導漁業士 上田 隆司

#### 【新規認定】

- 稚内漁協指導漁業士 有馬 博
- 利尻漁協指導漁業士 町村 孝司
- 宗谷漁協青年漁業士 石井 啓太
- 利尻漁協青年漁業士 小坂 善一

### 平成20年度 北海道漁業士称号授与式 第54回全道青年・女性漁業者交流大会



前列左から2人目「能村指導漁業士」同じく3人目「上田指導漁業士」  
前列右から2人目「有馬指導漁業士」同じく3人目「町村指導漁業士」  
後列左から2人目「小坂青年漁業士」同じく3人目「石井青年漁業士」

※ 4 ページに新規認定の方の自己紹介が掲載されていますのでご覧下さい。

# 漁業士さんの出前授業実施結果

宗谷管内漁業士会では、青年漁業士が中心となり、自ら漁獲した魚介類の美味しさや漁業・漁村の魅力をアピールし、子供たちに魚食や水産業に対する知識と理解を深めてもらい、魚食普及を図ることを目的に平成18年より「漁業士さんの出前授業を実施しています。平成20年も、地元で獲れる新鮮な魚介類や漁師の仕事を題材に、水産技術普及指導所と連携の上、小学生を対象に出前授業を行いましたのでご紹介します。

授業はどれも、漁獲物について勉強する座学と、実際に魚やコンブに触れて行う実習の2部構成で行っています。



実施日	実施校・講師		対象魚種
平成20年8月28日	猿払村 知来別小学校 4年生	講師：本澤指導漁業士 講師：工藤青年漁業士	秋さけ
平成20年10月23日	稚内市 稚内中央小学校 5年生	講師：能村青年漁業士	こんぶ
平成20年11月17日	豊富町 兜沼小中学校 小中学生全生徒	講師：佐々木青年漁業士	ひらめ
平成21年2月18日	豊富町 豊富小学校 小学3～6年生	講師：能村指導漁業士	こんぶ



## ・秋さけ・

地区の漁業である秋さけ定置網漁業を題材に、サケの一生や漁獲方法、美味しい食べ方等を学習しました。

実習では秋サケの3枚おろしを実演。この手順を参考に、子供達には体力を考慮し、ホッケの3枚おろしに挑戦してもらいました。

漁港に近く、漁業が盛んな地域の小学校でしたが、魚を捌くのは初めての生徒が多かったです。大人が一人一人補助しながらの作業でしたが、小学生が初めて捌いたとは思えないほどきれいに3枚おろしが完成しました。

3枚おろしにしたホッケは子供達が持ち帰り、自宅で食べてもらいました。

### 【工藤講師の感想】

相手は子供と言っても、そこはやはり「授業」なので緊張してしまいました。

子供たちが話を聞く顔そして目は、とてもキラキラとしていたのが印象的で、自分にもこういう時があったなあ……と思い出しました。(笑)

話したいことを「文章」にして授業をしましたが、次回からは「箇条書き」にして、その場の言い回しで授業したほうが面白い話も交えられるのかな？と思いました。



## ・こんぶ・

リシリコンブを題材に、コンブの生活史や養殖コンブと天然コンブの違いや、乾燥～製品化作業の流れ、コンブの「だし」について学習しました。

実習では乾燥済みのコンブの製品化作業（整形）と、コンブダシの入ったみそ汁となにもダシの入っていないみそ汁の飲み比べを実施しました。中にはダシの入っていないモノが好みの生徒もいましたが、子供達のお代わりで先になくなったのはリシリコンブダシの入ったみそ汁でした。

稚内中央小学校は市街地の小学校で、海に面していますが父母が漁業を営んでいる家庭は少ないそうです。付近の漁業者の協力により、コンブ干しの見学をしたり、地域学習としてコンブの学習に取り組んでいて、今回はその一環としての出前授業でした。

豊富小学校は、内陸部にある市街地の小学校で、漁業者の子供は通っていないそうです。同校では、平成19年にも「ホタテガイ」を題材に出前授業を実施しており、今回は2年連続の実施でした。

### 【能村講師の感想】

乾燥しただけで、堅いままのコンブを子供達がバリバリと美味しそうに食べている姿がとても印象に残りました。

コンブその物の美味しさが伝わったのでとてもうれしかったです。

## ・ひらめ・

兜沼小中学校は、豊富町の内陸部にある酪農が盛んな地域の小学校で、生徒の半数は酪農やそれにかかわる職業の子供達でした。

ヒラメのヘラ曳き漁業を中心に、生態や漁獲方法、いろいろな食べ方について学習しました。

講師を務めた佐々木漁業士のヘラ曳きの実操業を撮影した宗谷管内漁業士会オリジナルビデオや、実際に使っているヘラなどの漁具を用意して漁獲方法を説明しました。

実習ではヒラメ漁業に使われるタコベイト（疑似餌）にカグラ（集魚や補強のための部品）の取り付け作業を行い、ストラップに仕上げました。

また、ヒラメの5枚おろしを実演し、お刺身の試食も行いました。

給食を食べたあとの授業でしたが、生徒達はとても美味しそうに食べ、用意したお刺身はあっという間に無くなりました。

### 【佐々木講師の感想】

いつも思うのですが、子供達は水産物が嫌いな訳では無いと感じました。

あくまでも、食べさせる（若しくは提供する側の）責任であり、こちらの方への食育も必要だと、改めて感じました。子供達はいつも、大変美味しそうにパクパクと笑顔で食べてくれるのが印象に残っています。



